

研修会報告書

令和5年3月

総務文教常任委員会

1. 日 時

令和5年3月24日(金)

午後1時30分～午後3時30分

2. 講 師

兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 先生

3. 演 題

『活力ある、おもしろいまちづくり with A.I』

4. 個人報告書

以下のとおり

研修報告書

(議員名 藤尾 潔)

研修会名	総務文教常任委員会 議員研修会
日 時	令和5年3月24日(木) 午後1時30分～午後3時30分
場 所	第1委員会室
研修内容	講 師：兵庫大学教授 宮崎光世氏 「活力ある、おもしろいまちづくり With AI」
感 想	総務文教常任委員会では、デジタルの活用を重点調査項目としていることから、デジタルの活用が私たちの生活やまちづくりに与える影響についての研修会を行った。 データを分析してまちづくりに活用することの重要性や、I C T 技術の進展により一か所で固定的に働く以外の選択肢が増えてきたこと、複数の地域で働く「ブリッジ人材」をまちづくりに取り込むことの重要性について学んだ。また、企業版ふるさと納税を活用し、都会の企業をまちづくりに取り込んでいく事例についても学んだ。 今回の研修結果を政策立案等に有効活用していきたい。

研修報告書

(議員名： 別府みどり)

研修会名	総務文教常任委員会研修会 演 題：活力ある、おもしろいまちづくり with AI 講 師：兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 氏
日 時	令和5年3月24日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所	加東市役所 第1委員会室
研修の感想	まちの特徴やデータの分析から、強み・弱み等を理解したのちに対策を取っていくことの効率性への理解が深まった。 やみくもに他市の事例を取り入れても、まちの課題と適合していなければ効果的な施策を打ち出せない。宮崎先生のような専門的知見を活用したまちづくりができると期待したい。 また、様々なステークホルダーと関わり、まちづくり戦略を立てていくことの必要性も感じた。行政だけでは担当していない部分を共に考えて、新しい視点を活かしていくような取組を提案できるようにさらに研究していきたい。 また、研修の中の企業版ふるさと納税の活用についても興味深く聞いた。燕市での取り組みや、「寄付を通じて、良かった意味があった」と思っていただける工夫、課題解決のインパクトを発信することなど、加東市にとってまだまだ取り組んでいくべき部分が多くあると実感した。今回の研修を活かして政策提案できるように活動していきたい。

研修報告書

(議員名： 長谷川幹雄)

研修会名	総務文教常任委員会研修会 演 題：活力ある、おもしろいまちづくり with AI 講 師：兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 氏
日 時	令和5年3月24日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所	加東市役所 第1委員会室
研修の感想	<p>IT(情報技術)の浸透が、我々の生活をあらゆる面で良い方向へ変化させている。これから、絶対にさけて通れない DX(デジタル・トランスフォーメーションとは、変化・変形・変容を表すと言われており、デジタル化により社会や生活の形・スタイルを変えることである)と言われて、今後益々、社会生活の中で変化が現れてくると思われる。</p> <p>ITとDXとよく言われますが、一緒のようで少し違いがある。</p> <p>業務の効率化がITであり、効率化した業務の変革がDXであるからです。DXでも業務の効率化は重要なテーマであるので、コスト削減による競争力の向上や、リモートワークなどの働き方改革につながっている。これに、AI（人工知能）が加わって効率化や変革がすごいスピードで進んでいる。アナログ的な私にしては、この変化に追いついていけるのか不安でいっぱいである。そんな不安の中でも、恩恵を受けているのに気づいていない面が多くあるのではないかと思う。</p> <p>議会でも、AIによる自動反訳を導入して、原稿作成に非常に役立っている。</p> <p>宮崎先生の講演の中で一番印象に残っている言葉が、ブリッジ人材と、企業版ふるさと納税である。高齢化社会で後継者的人材確保が厳しい状況にある。困っているところとの橋渡しをして頂く人材が確保できれば、発展していくと思うが、今後の進め方、相談できる場が重要になってくる。常に考え、思う、取り組む意識をもって進めないと取り残されていく時代にきていると感じる。</p> <p>ことわざに、3者、馬鹿になって取り組む者や若者、そしてよそ者(例えばお客様)がいれば発展すると言われているが、まさにその通りである事例が(十勝うらほろ楽舎)であると思われる。相当なご苦労があったと思うが、ふるさと納税も活用しながらの取り組み参考に、加東市そして我が地域の発展につなげていきたい。</p> <p>最後に、宮崎先生の言られた加東市のアイガーのパン屋さんに行って先端技術を確認してきた。</p>

研修報告書

(議員名: 古賀ゆう)

研修会名	総務文教常任委員会研修会 演 題: 活力ある、おもしろいまちづくり with AI 講 師: 兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 氏
日 時	令和5年3月24日(金) 午後1時30分~午後3時30分
場 所	加東市役所 第1委員会室
研修の感想	AIを使ったパン屋さんの例など具体的でわかりやすかった。 ただ今多くの農業者が悩んでいる後継者問題は、加東市の山田錦中心の農家は耕作面積も大きくなないと生活ができない。 無農薬有機栽培では過大な労力が必要になるので不可能だと感じている。これをAIで解決できないのか悩んでしまう。

研修報告書

(議員名 松本 美和子)

研修会名	総務文教常任委員会研修会 演題：活力ある、おもしろいまちづくり with AI 講師：兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 氏
日 時	令和5年3月24日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所	加東市役所 第1委員会室
研修の感想	地方創生とデジタルの活用について、「活力ある、おもしろいまちづくり with AI」のお話を聞いて、特に加東市の分析①日本の少子高齢化問題において加東市は相対的にみて良い状態にあること②中国自動車道沿いに企業を誘致することで、若年層が多い地域を生み出していることから(誘致)企業に選ばれ続けることが大切なこと、という点が大変役に立ったと感じました。 また、AI といっても具体的には理解しにくい点も、加東市のベーカリーショップ Eiger さんの会計システムが、西脇市の企業である株式会社ブレインさんがつくられた会計システムであったことを今回初めて知り、Eiger で何度も見たことのある光景だった事もあり、私自身とても身近に感じることが出来ました。 他にもいろいろな気付きをいただき、有意義な研修でした。ありがとうございました。

研修報告書

(議員名： 大久保 忠義)

研修会名	総務文教常任委員会研修会 演 題：活力ある、おもしろいまちづくり with AI 講 師：兵庫大学 現代ビジネス学部 教授 宮崎 光世 氏
日 時	令和5年3月24日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所	加東市役所 第1委員会室
研修の感想	日本での現在の検索エンジン開発の礎を作り上げられた方であり、経験からのお話には、大変に感銘を受ける内容が多かった。 DX（AI）を進めていく上で、入口の考え方や取り組み方について、何が大事なのかをきちんと整理しておく事が必要であると感じた。 データを利用して、人や組織の問題をどのようにクリアすれば良いのかについても便利であるとか効率的であるとの視点で見る事により、経過も結果も好転すると認識できた。 加東市の人口分布等のデータを基に視覚的に非常にわかりやすく、加東市の状況の説明を頂いたように、どのようにデータを利用してどのようにアウトプットするかが大切であると感じました。 知りたい、利用したい、便利などの受け手側の立場になって考えて、DXをまず進めて行かなければ、いくら頑張っても受け入れてもらはずに利用もされない結果に陥る事が考えられる。 廃校になった高校を十勝うらほろ楽舎として、交流・連携から若者の仕事づくりの事業へステップアップしていく事例や、Eigerのベーカリースキャンを使ったレジの効率化も、今ある状態をどうしようか？ではなく、現状の問題点から、結論となる最後の光景を思い描いて、その為にどのようにしたら良いのかを考えて取り組まれており、進め方や考え方について非常に参考になる例がありました。 ブレイン社では、従来、陸上競技のタイム計測表示器やソフトウェア開発販売の会社で、持ち込み案件で初めてのカメラでの画像処理システムであったのに、結果を思い浮かべてやろうと技術者を決断させるほどに、夢が溢れた案件だったのだろうと想像します。 そのように、ワクワクするようなDXを進める事が出来ればと感じました。